

くりの図書館に行こう！



くりの図書館長賞

(最優秀賞) 『栗野岳の主』 轟小学校 6年
下戸 悠太郎さん



感想画の説明文

『月はその光を、老いたイノシシのところまで送り、王冠の金のかざりのように、そのきばの上で、美しくかがやくのでありました。』

初めてこの「栗野岳の主」を読んだときから、この場面の威厳ある主の姿を描いてみたいと思っていました。

イノシシの毛並みが難しかったのですが、満足のいく作品ができ、うれしかったです。



湧水町教育委員会・くりの図書館主催

第5回 椋鳩十作品

読書感想文・感想画コンクール

優秀賞

『金色のあしあと』



轟小学校 4年
下戸 良佑さん

感想画の部

『大造じいさんとガン』



轟小学校 5年
竹崎 暖埜さん

『きえたキツネ』



上場小学校 6年
鈴木 武浩さん



感想文の部

優秀賞

轟小学校 4年 下戸 良佑さん

「きらきらがいっぱい」

轟小学校 5年 田原 瑠菜さん

「残雪のように」

轟小学校 6年 下戸 悠太郎さん

「丘の上の野犬～その後の二人の手紙～」

湧水町が舞台となった「大造じいさんとガン」「栗野岳の主」など、様々な動物文学を生み出した児童文学の巨匠・椋鳩十氏の功績を称え、第5回椋鳩十作品読書感想文・感想画コンクールを実施しました。

町内各小学校から多数の感想文・感想画が寄せられ、審査を行った結果、8名の方が受賞されました。受賞者には賞状と図書カードを贈らせていただきました。ご応募ありがとうございました。

このコンクールを通じて、郷土への愛着が深められ、心豊かで、たくましい子どもたちが育ってくれることを願っています。

くりの図書館長賞を受賞された 坂下 日奈子さんの作品を掲載します。

コンクール受賞者の作品は、平成30年度「文集ゆうすい」に掲載されています。
また、くりの図書館内にも感想画と併せて展示してありますので、ぜひご覧ください。

(最優秀賞)

共に生きる

湧水町立吉松小学校 5年 坂下 日奈子

「片耳の大シカは、人間をにくんでいなかったのだろうか。」

これは、私の頭の中にうかんだぎ間です。狩人たちにいく度となく命をねらわれ、片方の耳を失ってしまった大シカ。このシカは、群れの頭領で人間の命をも救っています。

私は、この話が「大造じいさんとガン」ととても似ているので興味を持ちました。「大造じいさんとガン」では、特に、大造じいさんと残雪の知恵比べが面白いです。自分をぎせいにしても仲間を助ける残雪の頭領らしいすがたに心を打たれた大造じいさんの心の変化がよく分かる作品です。しかし、「片耳の大シカ」の頭領は、一方的に命をねらわれているように思います。何か人間の都合だけで動物の命がぎせいになるのかと思うといかりがこみ上げてきます。

厳しい自然の中で天候が急に変わり、三人が命からがらにげこんだほら穴には、先ほどまで命をねらっていた片耳の大シカをはじめ、多くの動物たちが体を寄せ合い、温めあっていました。動物たちの目の前には、敵である人間たちが助けを求めて近づいてくるのです。しかし、大シカたちは、敵意をむき出しにするどころか、人間たちの冷えきった体をおしつけられてもさわぎたてることもしなかつたのです。

「動物たちは、おたがいのからだに、おなじようなきけんがおそいかかってくる場合には、おたがいに助け合うというような習性があるのかもしれない。」

という一文があります。いがみあっている動物どうしでも、大あらしのときは、同じところに寄り合つてなにかよくのがれるそうです。命の危険が迫っているときには、敵も味方も関係なく助け合える大シカたちの行動に、私たち人間も学ぶべきではないでしょうか。

私たちは、人と人との関係の中で生きています。友達と笑ったり、時にはけんかをしたりしながら、たくさんさんの感情が動く中で毎日を過ごしています。私が、毎日の生活の中で特にむずかしいと感じているのは、人を「許す」という行動です。それは、けんかがあつた時に、自分が悪いと思うよりも相手の方が悪いと思つてしまうからです。この作品では、動物たちが人間を許しています。動物は本来、相手が明らかで危険を感じたときには、自分の身を守るためにおそいかかってくるのです。しかし、人間のような「にくむ」とか「うらむ」という感情はないのかもしれない。もしかすると、この感情が「許す」ことをじゃましているのかもしれない。自分の都合ばかりを考へることが、人をにくんだり、うらんだりすることにつながるのかもしれない。人を許しながら「共に生きる」とはどのようなことなのかを考へさせられる作品と出合うことができました。



椋鳩十動物童話集
第1巻
「片耳の大シカ」
小峰書店 1990年



開館時間：午前10時～午後6時（毎週金曜日は午後7時まで開館）

休館日：毎週月曜日、祝日（即位の日、こどもの日、海の日、文化の日を除く）、毎月第4木曜日、年末年始（12/29～1/3）、特別館内整理期間（9/9～9/19）

お問合せ：74-1821